

【3】偶然が、人をつないだ

# かつばの縁えにし

大切に保存されているかつばどっくり。  
黒ずんだ色や欠けた口に長い歴史を感じる。  
傾けても酒が出てこないのが残念だ。



▲三堀家の墓をのぞき込むように見つめるグループのメンバー。こけむした墓の様相が長い年月を物語る。  
▼かつばどっくりグループが作成した絵本仕立てのガイドブック。とっくりのルーツや商店街マップも掲載。



▲山田喜三さん（写真中央で帽子をかぶっている人）と共にかつばどっくりの記念碑を見つめるグループのメンバーたち。どの顔も興味津々だった。

い間、大山街道沿いの見せ物小屋に飾られ、大山詣に訪れた人たちの人気を集めていたという。関東大震災や太平洋戦争の後、このとっくりは行方が分からなくなりました。どこまでが伝説で、どこからが現実の話なのか、地元の人たちも長い間判然としていなかったという。

## 道路工事もたらした偶然

実はこのとっくり、現在は三堀五良兵衛の子孫に当たる山田玉枝さん（上長尾）の家に保管されている。寸法は高さ約21センチ、底12センチあまり。木箱に入れられ、何重にも布を巻かれた備前焼風の焼き物。280年ほど前に作られたとされるそれは、震災や空襲の被害に遭いながらも、現在まで原形をとどめている。表面は黒く焼け焦げたよう、口の部分も欠けてしまっており、長い歴史を物語っているかのようだ。もちろん、現在は酒が沸くことはない。

戦時中、玉枝さんの母親である三堀うたさん（故人）が戦火を逃れ、茅ヶ崎市から本町千頭地区に疎開してきた。戦争は終わり、とっくりはうたさんと共に茅ヶ崎市に戻った。地元の人光寺には、かつばどっくりを記念した碑が建てられた。



かつばどっくりグループ初代会長 鈴木久美子さん

しかし今から約30年前、現地で道路工事の計画が持ち上がり、墓地を整理することになった。それを機に、山田家では先祖の墓などを本町智満寺に移し、今に至るまで大切に守っている。

## 茅ヶ崎住民と子孫が初対面

茅ヶ崎市の商店街店主などで構成する有志の会「かつばどっくりグループ」。市北部の5商店街の90店舗ほどが加入する同グループは、平成17年に産声を上げた。地元で伝わる「かつばどっくり」を核とした地域活性化を図ろうと、看板やガイドブックの製作、かつば関連のグッズや商品開発などを通してまちづくりに力を注いでいる。本町に現物があることを知った同グループは6月15日、グ

神奈川県茅ヶ崎市に伝わる民話「かつばどっくり」。神奈川県50選にも選ばれたこの物語を記念した碑が、本町上長尾の千葉山智満寺にある。碑が建立されて約30年がたった今も、見物のために町内外から人が訪れる「本町の隠れた名所」になっている。なぜ本町に記念碑が――

## かつばどっくりって何だ？

神奈川県茅ヶ崎市。JR相模線香川駅の南西500メートル、県道相模原藤沢線が小出川（田間門川）を渡る大曲橋の東西両側に簡単な木製の看板がある。

「かつばどっくり発祥の地」ととっくりの発祥ではなく「かつばどっくり」という物語が生まれた場所という意味らしい。

この大曲橋は、寒川町と茅ヶ崎市の境界にあり、かつては間門橋と呼ばれた。この間門川周辺を舞台とした民話が「かつばどっくり」である。

村人の三堀五良兵衛（資料によつては五郎兵衛の記載もある）に助けられたかつばが、そのお礼に酒がわき出るととっくりを贈るといふ物語。

この民話のモデルとなった「酒がわき出るととっくり」は、長

茅ヶ崎ではこの民話が広く知られています。私たちは、この「かつば」に着目し、商店街の活性化を目指してさまざまな商品開発などを行っています。絵本仕立てのガイドブックは、魚屋さん、寿司屋さん、花屋さんなどの店先に置いてあり、多くの人の目に触れることで「町おこし」への気運が高まっているんですよ。

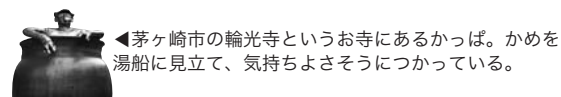
しかしかつばどっくりの実物は茅ヶ崎にはなく、みんな実在しないと思っていました。本物があることが分かったのは本当に偶然の出来事。山田家の皆さんが大切に残してくれたことが本当にうれしかったです。今の子どもの中にはかつばどっくりを知らない子もいます。私たちが、きちんと伝えていきたいと思っています。

ループのメンバー10人が連れ立って本町に足を運んだ。玉枝さんの夫である山田喜三さんの案内で智満寺を訪問し、民話の主人公「三堀家」の墓を見学した。記念撮影に興じたり、かつば談義に花を咲かせたりして、当時の様子に思いをはせた。

その後一行は、山田家を訪問し、かつばどっくりの実物と対面。大きな感動の中、三堀五良兵衛の子孫である玉枝さんとも面会を果たした。

今後同グループでは、秋に開催を予定しているイベントに山田夫妻を招待する企画を検討しているという。

古びたとっくりが紡いだ不思議な不思議な「縁」。これから新しい関係をつくり上げていく予感を見せた。



茅ヶ崎市の輪光寺というお寺にあるかつば。かめを湯船に見立て、気持ちよさそうにつかっている。